

平成30年度

事業計画書

第22期

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日

社会福祉法人 長寿の里

目 次

平成30年度 事業計画

- 鎌ヶ谷翔裕園
 - 事業計画 P. 3～5
 - 年間予定表 P. 6

- 行徳翔裕園
 - 事業計画 P. 8～9
 - 年間予定表 P. 10

- いちかわ翔裕園
 - 事業計画 P. 8～9
 - 年間予定表 P. 10

- ふなばし翔裕園
 - 事業計画 P. 8～9
 - 年間予定表 P. 10

- かしわ翔裕園
 - 事業計画 P. 8～9
 - 年間予定表 P. 10

平成30年度 鎌ヶ谷翔裕園 事業計画

施設基本方針

新たな時代の「医療」・「介護」・「教育」モデルを確立しよう

施設年度目標

- ① 人財確保
- ② 介護ロボットの導入・介護事務のIT化による介護職員への業務軽減を図り、離職率を軽減する。
- ③ 鎌ヶ谷市地域への地域貢献活動

重点項目と方策(各事業ごと)

・新規事業 青木施設長・辰巳事務局長

・前年より取り組んで参りました、鎌ヶ谷翔裕園のショートステイサービス(現26床)を現在職員駐車場として使用している土地にショートステイ別館(30床)を新築し、現在のショートステイ26床を特養に転換(現特養104床から130床)し、事業所内保育所を併設することで、時代と地域に即した事業運営を行います。

・特養

・目標稼働率95%以上の確保

管理課 相談部門 野崎ケアマネ・村上ケアマネ・村中

入居申請書やパンフレットを法人統一書式に変更し、法人全体での入居申請者増に向けて県内外に向けて営業活動を行います。退去期間のロスをなくすため、入退去の期間(2日以内)を必須とし、安定した入居移行に向けて入居者確保が絶対的に必要不可欠となる為、ロングショートを活用して参ります。年度内の特養・ショートの増床に向けて、計画的な営業活動を行い、増床月内の満床と申請者100件超を確保します。ケアの質の向上と加算取得をリンクさせ、結果の残せる介護に向けて活動し、利用者満足度と職員のモチベーションを向上させます。

介護課 高木副施設長・篠崎主任・高見澤主任・白井主任・前田主任

- ①個別ケアの実践 毎月のフロア会議で職員同士でケアや業務を見直し質の向上を行います。
- ②生きがい・目標の充実 自己決定しながら生活できるように援助を行い、QOL及びADLを向上させます。
- ③身体拘束廃止、虐待防止 半年に1回全職員に身体拘束廃止、虐待防止の研修を実施し周知徹底を図ります。
- ④資質と専門性の向上 個別プログラムに則り職員育成を行い、各種研修へも積極的に参加させます。
- ⑤介護ロボット・福祉機器の導入 ICT・IOT化導入推進し使用方法等の研修を随時行います。
- ⑥新入職員の育成・教育をし、3ヶ月ごとに評価し育成プログラムを更新し、介護職員として育成して参ります。

医務課 中村主任・梶山主任

- ①健康管理の徹底 毎日のバイタル測定と様子観察、年二回の健康診断により健康管理を行います。
- ②疾病の予防・感染症対策・研修 多職種と協働し予防のための毎月1回疾病の予防・感染症対策・研修を行います。
- ③身体拘束廃止、虐待防止 半年に1回全職員に身体拘束廃止、虐待防止の研修を実施
- ④職員のメンタルケア 看護師、産業医の先生に相談できる環境の周知と効果的な活用の推進を行います。
- ⑤職員の腰痛対策 健康診断の結果を活用し、特に職員の腰痛予防研修、治療等の指導をして参ります。

管理課 栄養部門

- ①個々のニーズに合った栄養ケア 根拠を持ってニーズに合わせた栄養ケアを行い、加算取得を推進します。
- ②デイにおける食事サービスの進化 セレクト食だけではなく食品加工をレクに取り入れ満足度向上に繋がります。
- ③“安全・安心”な食事提供の徹底 委託職員の調理・盛付け等、衛生面の指導を行い技術・知識を向上します。□
- ④口腔衛生維持及び経口維持 一日でも長く口から美味しく食事を摂る事が続けられる支援を行います。
- ⑤満足度と機能向上のための食事提供 美味しく食べるだけではなく、食事を通して利用者の自立喚起を行います。

・ショート

・目標稼働率100%以上確保

管理課 相談部門 小玉相談員・村中

ショート専門棟増築及び増床(30床)を見据えて、相談部門主任と担当相談員が月7日以上の営業活動を行い、新規の

安定的な確保に取り組み、オープン初月から稼働率100%を必達します。 月初2日間以上 中旬3日以上 下旬2日以上

介護課 高木副施設長・篠崎主任・高見澤主任・白井主任・前田主任

・レクリエーションを選択制にし、利用中の生活リズムを自宅での生活に即したものにすることで個別ケアを推進します。また、身体拘束廃止と虐待防止について、研修等を通して周知・徹底し、利用者の尊厳保持に努めます。感染症等の持ち込み予防に向けて、利用者の健康管理を密に行い健康的に繰り返しご利用できるサービス体制をつくります。

・デイ 山村主任・布利幡主任・小沼相談員

・鎌ヶ谷デイサービス 92%以上 営業活動頻度: 月初2日間以上 中旬3日以上 下旬2日以上
・セレクト食や機能訓練及び選択制レクでの稼働率確保は出来ております。今年度は活動の目標設定をして、達成出来た時に満足感が得られる様に披露の場を提供するなど、デイでの活動を通して人生が豊かになるようなサービスを構築しやりがいに繋げ個別ケアを推進します。また、月に一回の活動発表会を開催し、社会参加を通じて可能性の拡大や意欲の向上、達成感から継続的な利用に対する意欲増進を図り、稼働率の維持向上に繋がります。これらを踏まえて、宣材を一新して担当相談員が月に7日以上営業活動を行い、新規事業所の開拓と毎月新規3名獲得します。

・つかだデイサービス 85%以上 堀田管理者 新規利用者: 月2名以上

法改正に関する情報収集を行い、特に総合事業の流れを踏襲して活動内容などを見直し、時代とニーズに合ったサービスの提供を常に意識しながら活動プログラム等を柔軟に変更させ稼働率の向上を図ります。また、営業ツールの見直しとしてICTを積極的に取り入れ、効率と効果の最大化を目指して管理者を中心に月に7日以上営業活動を行います。

・居宅 新井管理者・小桧山ケアマネ

居宅介護支援事業を実施するにあたり、法令遵守の徹底を致します。法改正の情報を確実に収集し、公平中立な自立支援を行います。相互牽制で施設長立会いの下、ケアプランのチェックを四半期に一度行い、法令遵守を徹底します。

地域交流、地域貢献事業 荒川副施設長

地域の元気高齢者、幼稚園に入園出来ないお子さんを持つ方々に地域交流スペースを開放し、地域交流を促進します。

サロン翔裕会	毎月1回	30名	あゆみ会	毎月2回	23名
竹の子キッズ	毎週木曜日・午前	30名	茶道・華道教室	各毎月1回	各10名
サークル琴の音	毎週土曜日・午前	10名	絵手紙教室	毎月1回	10名
赤とうがらし	毎月1回	5名	介護教室	毎月1回	10名

上記の方々には、納涼祭、翔裕園の日等の行事にご参加の案内をして、相互に活動を通じた交流を行います。鎌ヶ谷市の地域貢献事業モデルとなるよう、鎌ヶ谷市高齢者福祉課との協議を積極的に行い、新たな地域交流スペースの活用方法を考えて協議しております。

職員採用、育成、定着 辰巳事務局長 荒川副施設長

採用目標人数(新卒、中途)

新卒	10名以上	シニア世代	25名以上
中途	5名以上	離職率目標	5%以下

平成29年度の離職率が、常勤77名中で5名(3月現在)(昨年度 名12.8%)で6.5%であるため、目標を5%以下としました。

離職率低減策 荒川副施設長

・介護業務のICT・IOT化とシニア世代を含めた多様な人材雇用を行い、介護業務に係る負担軽減に向けて取り組みます。また、ストレスチェックや面談で得られた情報を基に産業医と共同しメンタルヘルスにも注視し働きやすい職場環境を構築します。売り手市場の中で、地域に根ざした就職先として位置付けられる様に、学校等への営業活動を担当者が行い、次世代人材の確保と共に、子育て世代、シニア世代でも働けるよう業務内容や時間の見直しを随時行います。
・産休や育休取得実績を活かすと共に事業所内保育所を開設予定であり、女性が長く働ける職場づくりを行います。

育成計画 辰巳事務局長・荒川副施設長

新卒、無資格者への介護の研修を関東福祉専門学校との協議をし、定期的を実施致します。

資格を取得することで、介護への自信、スキルアップが図れるので、資格取得の支援として、資格取得する際の費用を介護職員処遇交付金等を利用し、施設が負担するように実施して参ります。

年間数値目標(利用率) ※三月分は見込み値

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95.0
	H29 実績	95	93	94	95	97	94	94	94	94	94	94	95	94.4
短期	H30 目標	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0
	H29 実績	105	101	100	100	99	100	96	106	99	101	104	101	101.0
通所	H30 目標	92	92	92	92	92	92	92	92	92	92	92	92	92.0
	H29 実績	91	90	91	96	94	92	97	94	92	83	89	92	91.8
つかだ	H30 目標	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85.0
	H29 実績	84	88	88	91	89	89	89	93	92	85	87	87	88.5
居宅(件数)	H30 目標	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80.0
	H29 実績	80	78	73	77	79	79	77	74	74	73	75	76	76.3

平成30年度 鎌ヶ谷翔裕園 年間予定表(案)

主な行事	研修		委員会・会議																																
	内部	外部	名称	介護研修	広報委員会	給食委員会	防災	安全衛生	身体拘束廃止	虐待防止	入所判定	感染症・褥瘡対策	納涼祭実行	敬老会実行	経営会議	従来型フロア会議	ユニットフロア会議	デイ会議	リスクマネジメント	地域交流会議	インフルエンザ	長寿の里栄養士研修	長寿の里特養相談員会議	長寿の里介護士研修	長寿の里相談員会議	長寿の里経営会議									
				開催頻度	月1回・随時	月1回	月1回	2ヶ月1回	月1回	月2回	半年1回・随時	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回					
4月	花見 外出	新人研修 虐待身体拘束研修 接遇マナー研修	葛南ブロック研修 新人研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
5月	端午の節句 防災訓練	感染症(食中毒)研修 寄り添い5ヶ条研修	救急救命講習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
6月	菖蒲見学 紫陽花見学	リスクマネジメント研修 看取り研修	認知症介護実践者研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
7月	七夕 夏祭り	排泄ケア研修 熱中症対策研修		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
8月	防災訓練	熱中症対策研修 認知症勉強会	認知症介護実践者研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
9月	敬老会 健康診断	感染症(インフル)研修	模擬試験	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
10月	翔裕園の日 運動会	接遇マナー研修 ノロウイルス対策研修	認知症介護実践者研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
11月	紅葉狩り 芋煮会	虐待身体拘束研修	ユニット推進協・全国 救急救命講習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
12月	クリスマス もちつき 忘年会	ノロウイルス対策研修 インフルエンザ対策研修	模擬試験 認知症介護実践者研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
1月	初詣 新年会	実技模擬試験 苦情対応研修	認知症介護実践者研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
2月	節分 防災訓練	嚥下・口腔ケア研修	ユニット推進協・千葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
3月	ひなまつり 健康診断	褥瘡予防研修		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
設備点検・健診等																																			
4月	水質検査	7月	水質検査(2回目) 消防設備点検	10月	水質検査(3回目)	1月	水質検査(4回目) 消防設備点検(2回目)																												
5月	法定電気点検 浴槽用ろ過装置点検	8月		11月	インフルエンザ予防接種	2月	エレベーター点検(4回目)																												
6月	エレベーター点検	9月	エレベーター点検(2回目) 利用者・職員健康診断	12月	エレベーター点検(3回目) 浴槽用ろ過装置点検	3月	貯水槽清掃点検 地下タンク清掃点検 利用者・職員健康診断																												
備考																																			

平成30年度行徳翔裕園・デイサービス翔裕園 事業計画

施設基本方針	時代の先駆者となろう！
<p>様々なニーズを収集し、求められる介護サービスを最高の形で提供しよう。 ご利用者・家族・地域・職員と全ての人に優しく、輝いて生活できる“第2のおうち”となるよう、 新たな事にチャレンジして、先駆的に取り組んでいこう。</p>	
施設年度目標	ワンステップ！ワンアップ！
<p>ワンステップ！ 新たな取り組みに積極的にチャレンジしていこう。 ワンアップ！ IOTやノーリフティングの機能を熟知してフル活用していこう。</p>	
重点項目と方策(各事業ごと)	
<p>・ケアハウス ・お泊りサブロー 使用していない部屋1室を改装し、入居ご検討の方へ体験的にケアハウスでの生活を4月より自費サービスで提供する。 未だ介護サービスを利用されていない方や、入居に不安や迷いのあるご本人やご家族が、安心して入居して頂けるよう 施設での生活を体験して頂き、空床時のスピーディな入居へと繋げる。□</p>	
【相談部門】	
①平均稼働率99%以上の維持・安定したベットコントロール	
<p>入居平均稼働率99%を維持する。30年度は介護の重篤化も見込まれる為、スムーズな入居への流れを構築し、空きベット数を3日以内に抑える。入居待機者確保の為、ホームページ・施設日記等、法人・施設パンフレットは勿論の事、リアルタイムで情報発信し、いつでも、どこでも、誰でも、気軽に施設情報が閲覧できるツールづくりや、SNS公式アカウントを作成する。IT社会の中で、時代錯誤した施設にならないよう、情報発信をおこなう。</p>	
②自費サービスの活用	
<p>空床利用を自費サービスとして全面改装をおこなった静洋室を、体験利用の居室とする。入居待機者にいち早く馴染んで貰えるような、自費サービスを提供し、入居を検討されている方へ、不安なく前向きに入居を検討して頂く。安心・安全に入居して頂けるきっかけとなり、スムーズな入居に繋げ、退去から入居までのタイムロスを最小限に抑える。</p>	
【介護課】	
①IOT・ICTの導入	
<p>既存で使用しているiPadを各番街で活用し、ご利用者情報をその場で入力し共有する。また、前年度3月より職員一人ひとりが携帯しているインカムでの情報共有により、ご利用者・職員の危険回避と緊急時の協力体制の強化と業務の効率化を図る。インカム機能を職員がフルに使いこなしていく。</p>	
②個別ケア、余暇活動・行事の充実	
<p>「目配り気配り心配り」を重点に置き、居室担当の再構成をおこない、一人一人にあった個別のケアを提供する。ケア内容は居室担当が責任を持って、他職員へ伝え職員全員が同じケアを提供できるようにする。また、余暇活動や行事充実にむけて、居室担当が一人一人の要望を聞き取り、新しいクラブの発足や行事に繋げて行く。</p>	
【医務課】	
①適切な処置・対応	
<p>予測される症状において、主治医との情報交換を密に測り、些細な変化にもすぐに適切な処置・対応が出来るように予防看護に注力し、重篤化を未然に防いでいく。</p>	
②機能訓練の充実	
<p>自立支援が出来るように個別リハビリの充実を図る。リハビリ体操 1回/月 個別リハビリ 4回/週以上 ケアハウスは、個別リハビリ加算所得を目指し体制を整える。</p>	
③音読クラブの拡大	
<p>集団・個別音読クラブを昨年度より参加者を二倍に増やす。詩の朗読に重点を置き、施設内での発表会を目指す。 音読クラブの内容の拡大・計算ドリル・詩の朗読・口腔体操を中心に脳を鍛える。</p>	
④ご利用者望まれる最善の看取りが出来るように目指す	
<p>看取り研修会を開催、ご家族・職員が安心して看取り介護が出来るように努める。</p>	
【栄養部門】	
①体験型イベント食の充実 実演形式の食事提供や調理体験イベントを月1回以上実施し食を通じた楽しみを充実します。	
②口腔機能の向上 口腔委員会を毎月実施すると共に歯科医と連携し、口腔衛生管理体制加算を取得します。	

・デイサービス

①年間平均稼働率93%の達成

ご利用者のニーズに応じた外出・室内レクリエーションを提供し、季節感を感じながら楽しくワクワクするようなイベントを計画し実行する事により、1日33名のご利用者を目指します。

地域の居宅事業所や病院等に毎月の広報誌や空き情報配布、毎日更新するホームページ等積極的にPR活動を行っていく。ふれあい施設を活用し、中学校文化祭への出展や保育園児とおやつ作り等計画し、その中でご利用者の皆様が役割を持ち役割を生きがいに変え、生きがいを挑戦に繋げるデイサービス運営を行い、目標稼働率93%を目指す。

②アクティビティの充実を図る

ご利用者に役割を持って頂き、その役割を生きがいから挑戦に変えていける事を重点目標とする。役割として選択レクリエーションではご利用者に先生の役割を担って頂き、ビギナーの方に指導して頂きます。先生が出来るご利用者には称号を与える等、生きがいに変えて頂く。生きがいを次のステップへと繋げるため、中学校文化祭への展示や、書道展に出店する等場所の提供を致します。また、五感を刺激し、楽しみながら心身を刺激できるプログラムの提供をする。

・翔裕園の日、地域交流、地域貢献事業

・翔裕園の日

地域の方々に翔裕園の日の浸透してきてる。今年度は記念の年でもあり、今まで以上に地域の方々に感謝の気持ちを表し開催。6月より翔裕園の日会議を開催し、秋の味覚提供企画を進めていく。地域住民目標来場人数：200名

・地域交流

園児さんとの毎週水曜日に行われる合同体操を継続して行い、季節行事やおやつ会等も合同企画で開催していく。一昨年度から行われている中学生とのふれあいランチについて、中学校と協同して新しい取り組みを交えて開催していく。近隣自治会の夜間パトロールやごみ拾い・公園の花植え・お祭りの準備・片づけ、餅つき等に継続して積極的に参加する。地域住民のバザーやサークル活動の開催場として、デイフロアの貸出しを提案し地域交流活性化を役割として担っていく。

・地域貢献

デイサービスの稼働日外に地域に向けてフロアを開放し、貸し出しをおこなう。普通救命救急講習Ⅰの受講を地域に向けて、年1回開催いたします。また、地域の方々向けの相談会、セミナーを無料で年6回開催し、地域の方々の集いの場として屋上庭園の開放(オープンガーデン)を年2回(春・秋)開催いたします。更に中学生へ向けての職業説明講演会に参加し、地域との関わりを密に取って参ります。

職員採用、育成、定着

・採用目標人数(新卒、中途)

各種就職フェアや面接会に出席し、求人法人誌やパンフレットを活用して、法人での取り組みを伝え説明していく。また、派遣を含み現定期雇用職員については、勤務状態等を見極め正規職員への移行を視野に入れる。各委員会活動から発信の研修・勉強、新入職職員へのOJTなどの実施、外部研修受講などにより職員の心と技のスキルアップを図る。

・離職率低減策

業務の見直しを行い、教育体制を整えて、無理なく自信を持って業務にあたれるようにする。昨年度3月より導入したインカムを最大限活用し、職員間の情報共有や連帯感を強化し不安なく安心して業務できる環境をつくる。定期的に職員面接を行い、意見の吸い上げや思いを表に出し伝えられる機会を作る。離職率の今年度目標は15%以下(前年17%)の目標とする。

・有資格者確保策

受験資格保有者で、未受験者がないように資格・受験資格者リストを作成し、申し込み開始前の早い段階から、受験への声掛けを行う。また、施設内で合格者を掲示する事等、しっかり評価する体制作りをおこない、受験者の志気を高める。

《社会福祉士》・現時点での受験資格者=0名

《介護福祉士》・現時点での受験資格者=2名(合格目標2名100%)

《介護支援専門員》・現時点での受験資格者数=7名(合格目標4名57%)

・育成計画

福祉教育の場として、地域学生の職場体験や教諭の職場実習などで、将来を担う子供たちに福祉の仕事を直接、又は間接的に伝えて繋げていけるように積極的に受け入れ、将来の福祉人材育成に努める。長期的な育成計画の一環として地域中学校PTA主催の職業説明講演会に参加し、まずは福祉について興味をもてるような糸口に繋げる。昨年度は社会福祉士、介護福祉士の実習生の実習申し込みがなかった為、実習施設である事を積極的にPRして受け入れをおこなう。

年間数値目標(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ケア	H30 目標	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99
	H29 実績	96.8	96.6	98.3	96.6	97.7	96.6	96.3	96.7	99.6	98.9	98.4	98.5	97.6
通所	H30 目標	92	93	95	95	91	95	95	92	92	90	93	93	93.00
	H29 実績	89	86.7	95.7	98.4	93.2	95	97.8	89.8	92.3	85.4	90.7	91.5	92.1

平成30年度 行徳翔裕園 年間予定表

主な行事	研修		委員会・会議																								
	内部	外部	名称	研修	看取り	事故防止対策	コンプライアンス	防災	業務改善	感染症	高齢者虐待防止	身体拘束廃止	給食	苦情解決	衛生	月例報告	主任	納涼祭実行	敬老会実行	職員会議	里会議	里相談員部会	里介護部会	里通所部会	里看護部会	翔裕園の日実行	
				開催頻度	月1回	第3木曜	第1金曜	第3月曜	第4木曜	第4月曜	第4木曜	第1木曜	第2火曜	第4火曜	第4木曜	第4木曜	第4木曜	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	3ヵ月1回
4月	花見 外食会 防災訓練 鯉幟作り	法令遵守	リハビリ																								
5月	母の日会 スカイツリー バラ園 さつま芋苗植え	医療行為	相談員																								
6月	父の日会 外食会 TDL 梅狩り	食中毒	介護																								
7月	梅酒作り 夕涼み会	身体拘束	医務																								
8月	納涼祭 花火大会見物 外食会	感染症	栄養																								
9月	敬老会 ランチパーティ	口腔ケア	管理職																								
10月	翔裕園の日 美術館 外食会	認知症	福祉機器																								
11月	芋ほり 買い物ツアー 秋祭り	事故防止	虐待防止																								
12月	外食会 イルミネーション クリスマス会 餅つき大会	看取り	介護保険																								
1月	新年会 初詣 相撲観戦	記録	保険外																								
2月	節分 恵方巻き作り お寿司会 外食会	リハビリ	雇用																								
3月	雛祭り イチゴ狩り	緊急対応	身体拘束																								
設備点検等																											
4月	合同防災訓練 エレベーター点検 害虫駆除	7月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	10月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	1月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃																				
5月	エレベーター点検 害虫駆除	8月	エレベーター点検 害虫駆除	11月	エレベーター点検 害虫駆除	2月	エレベーター点検 害虫駆除																				
6月	エレベーター点検 害虫駆除	9月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	12月	エレベーター点検 害虫駆除	3月	職員健康診断 防災訓練 水質検査・定期清掃																				
備考	◎不定期イベント: 映画鑑賞・中学校保育園交流 ◎季節イベント: かき水・お鍋会(12月・1月・2月)																										

平成30年度 行徳デイサービス翔裕園 年間予定表

主な行事	研修		委員会・会議																										
	内部	外部	名称	研修	事故防止対策	コンプライアンス	防災	業務改善	感染症	高齢者虐待防止	身体拘束廃止	給食	苦情解決	衛生安全	月例報告	主任	納涼祭実行	職員会議	里会議	里相談員部会	里介護部会	里通所部会	里看護部会	翔裕園の日実行					
				開催頻度	月1回	第3木曜	第1金曜	第3月曜	第4木曜	第4木曜	第4木曜	第1木曜	第2火曜	第4火曜	第4木曜	第4木曜	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	3カ月1回	月1回				
4月	お花見 家族懇談会 ドーナツパーティー	法令遵守 従業員倫理	リハビリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
5月	母の日会 サンドイッチパーティー 合同遠足	医療行為	相談員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
6月	BBQ 父の日会 フラワーアレンジメント	食中毒	介護	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
7月	流しそうめん スイカ割り大会 フラパチーノ作り 花火大会 縁日	身体拘束	医務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
8月	そば打ち 納涼祭	感染症	栄養	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
9月	敬老会 家族懇談会	口腔ケア	管理職	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
10月	翔裕園の日 運動会 文化祭	認知症	福祉機器展	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
11月	秋祭り お鍋会 仮装大会	事故発生防止	虐待防止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
12月	お鍋会 クリスマス会 餅つき 忘年会	看取り	介護保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
1月	新年会 お鍋会	介護記録	保険外サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2月	節分 お寿司の日 バレンタイン チーズフォンデュパーティー	リハビリ	雇用管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
3月	ひな祭り お寿司の日 ホワイトデー 春コレ	緊急対応	身体拘束	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
設備点検等																													
4月	合同防災訓練 エレベーター点検 害虫駆除	7月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	10月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	1月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	4月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	7月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	10月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	1月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	4月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	7月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	10月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	1月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	4月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	7月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃	10月	エレベーター点検 害虫駆除 定期清掃
5月	エレベーター点検 害虫駆除	8月	エレベーター点検 害虫駆除	11月	エレベーター点検 害虫駆除	2月	エレベーター点検 害虫駆除	5月	エレベーター点検 害虫駆除	8月	エレベーター点検 害虫駆除	11月	エレベーター点検 害虫駆除	2月	エレベーター点検 害虫駆除	5月	エレベーター点検 害虫駆除	8月	エレベーター点検 害虫駆除	11月	エレベーター点検 害虫駆除	2月	エレベーター点検 害虫駆除	5月	エレベーター点検 害虫駆除	8月	エレベーター点検 害虫駆除	11月	エレベーター点検 害虫駆除
6月	エレベーター点検 害虫駆除	9月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	12月	エレベーター点検 害虫駆除	3月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	6月	エレベーター点検 害虫駆除	9月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	12月	エレベーター点検 害虫駆除	3月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	6月	エレベーター点検 害虫駆除	9月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	12月	エレベーター点検 害虫駆除	3月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	6月	エレベーター点検 害虫駆除	9月	職員健康診断 防災訓練 水質検査	12月	エレベーター点検 害虫駆除
備考	・不定期イベント: 中学校、保育園交流 ・毎月1回お誕生日会																												

平成30年度 いちかわ翔裕園 事業計画

施設基本方針

チームワークを強化し、前進あるのみ
過去にとらわれず、施設内においても、新たな医療、介護、教育モデルを作り、未来を見据え、考え、行動できる人材を育てる

施設年度目標

- ① 職員一人ひとりがチャレンジ精神を持ち、実力以上の力が出せる人材になるよう取り組む
- ② IT活用、ノーリフティングにおいて先駆的な施設となる
- ③ ユニットリーダー実地研修施設として、満点評価で更新できるよう取り組む

重点項目と方策(各事業ごと)

・重点目標

- ①人材育成
- ②先駆的な取り組み
- ③ユニット施設としての質の向上
- ④外国人活用
- ⑤新たな事業に向けての地域ニーズ把握

・重点目標達成のための方策

- ①人材育成 担当:佐藤、有井、中村、田中、脇谷
ユニット、施設だけでの業務にとらわれず、一人ひとりの職員が様々なことにチャレンジできる環境にし、今後、他の環境においても働ける人材に育てる。その為にも、一人ひとりの職員が、仕事の幅を広げ、適正人数でも対応できるよう、チームワークを強化し、フォローし合える環境を作る。
働き方改革を推進し、一人一人の働き方を把握し、性別・年齢・国籍等にとらわれず、働きやすい環境を作り、職員を定着させキャリアアップを目指す。
- ②先駆的な取り組み 担当:服部・若佐谷・池奥・友成・清水
音声入力をはじめに、記録業務や計画作成業務など、時間短縮に向けて取り組む。入力業務の時間短縮により、ご利用者との時間が増やすと共に、残業時間の短縮をし仕事以外の時間も充実させ、日々の業務の効率化を目指す。
移乗用リフトやスライディングボードをフル活用し、腰痛予防に努め、腰痛や介護負担による離職をゼロにする。(担当:服部・池奥・友成)
- ③ユニットリーダー実地研修施設2年目として、全職員がユニットケアをしっかりと把握し、ご入居者の立場でケアを行い、ご入居者、ご家族の満足度の向上と、ユニットリーダー研修生に教育していくことにより、他施設のユニットケアの質が上がるようユニットケアを強化していく。(担当:荒井・服部・若佐谷)
- ④今現在働いている、外国人職員と連携し、日本人以外でも働きやすい環境づくりを行う。業務説明を英語やタガログ語他で作成し、日本語が分からない職員が困らない仕組み作り、言葉の弊害による業務ミス防止など、今できることから始め、今後、新たな外国人技能実習生を受け入れた際も、お互いの職員が困らない体制づくりを行う。(佐藤・池奥・五十嵐)
- ⑤施設周辺の自治会と連携し、最新のニーズを把握し、新たな事業構築に向けての方向性を定めるとともに、近隣事業所の状況把握に努め、事業連携、事業提携等事業拡大に向けての土台作りを行う。
(担当:小室・中村・脇谷・有井)

・地域交流、地域貢献事業

納涼祭(8月5日)、翔裕園の日(10月1日)、サンクスギビングフェスティバル(11月)を開催し、ご入居者、ご家族に加え、職員の家族、近隣住民のお子様からお年寄りまで、多世代が楽しめるイベントを企画し、施設の知名度を高めるとともに、困った時だけでなく、気軽に相談いただける翔裕園になれるよう、多くの方に参加いただけるアプローチを行う。(清水・若佐谷・菊池)
市川市認知症サポーター養成講座の開催、介護保険講座、栄養口腔講座を開催し、近隣住民の介護に悩む方々のお役に立てる施設になっていく。(担当:有井・脇谷・中村)

・身体拘束及び虐待防止

身体拘束及び虐待ゼロを施設目標として掲げ、施設全体で徹底し取り組めるよう、常に職員同士で防げる環境づくりを行う。年に3回は研修を行い、研修内容が風化しない状況を作るとともに、施設内にポスターを張り、常に全職員が意識し対応できる環境を整える。

・施設の強み

ユニットリーダー研修実習施設として、他施設のユニットリーダー候補にユニット内に入らせていただく機会を活かし、常に緊張感を持ったケアができる。接遇・書類作成・環境整備において、他施設の職員に常に見られる環境がある為、気の抜けない環境にあり、資質低下を防ぐことができている。その為、入居希望者や入職希望の職員の施設案内時は、自身を持って施設全体を見ていただくことができ、入居や入職に繋がるケースが多い。今年度は、さらに上記内容を整え、多くの見学者に来ていただけるよう、営業に回り、入居者確保、入職者確保ができるようにしていく。また、この強みを活かすことにより、ご入居者、ご家族の満足度が上がり、紹介にも繋げていけるため、気を抜くことなく前進していく。他施設に負けない、質の向上を図ることにより、今現在の職員が他施設では満足できない環境を整え職員定着にも繋げる。(担当:主任・ユニットリーダー)

・職員採用、育成、定着

採用目標人数(新卒、中途)
新卒採用目標5名:卒業生のいる高校には、卒業生を同行させ、進路指導担当者への訪問。他高校及び大学へは、進路指導部へ毎年訪問しているため、繋がるまで毎年行う。(担当:佐藤・中村)
中途採用目標5名:派遣職員を直接雇用への切り替え。(担当:田中・脇谷)
キャリアパス研修計画を立て、それぞれレベルに合った研修が受講できる仕組みづくりを行う。

・離職率低減策

腰痛予防や記録業務の効率化に対しては、ITや福祉機器を活用し、職員の業務負担軽減を図る。ユニットケアを強化することにより、他施設とは差別化を図ったケアができ、結果として自施設で働く価値観を高めていく。また、定期的な面談や、スポーツクラブなどを開催し、仕事後にリフレッシュできる環境を整え、職員同士のコミュニケーションを図る。(担当:田中・脇谷)

・有資格者確保策・育成計画

昨年度に引き続き、施設内で実務者研修等を開催し、無資格者が資格を取りやすい環境を作る。また、介護福祉士及びケアマネ取得要件を満たした職員をリスト化し、受験への声掛け、学習状況をこまめに確認し、全員合格に向けての環境を整える。(担当:佐藤・有井・ユニットリーダー)

・多様な働き方の実践

年齢、性別、国籍、子育て、介護など一人一人私生活の状況は違うため、気軽に相談できる環境を作り何かあっても働き続けられるよう全職員に周知徹底。そのためには、仕事内容に偏りがあるとそれぞれのフォロー体制が難しい為、個々の仕事の幅を広げられる教育をしていく。(ユニットリーダー)

年間数値目標(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 目標	98.7	98.3	97.7	96.9	97.2	97.8	98.4	98.6	98.3	98.8	97.6	97.7	98
	H29 実績	95.7	95.6	94.1	95.6	97.5	97.8	96	97.2	98.3	97.9	98.4		96.7

平成30年度 いちかわ翔裕園 年間予定表(案)

主な行事	研修		委員会・会議																					
	内部	外部	名称	感染症	褥瘡対策	口腔ケア	施設広報	事故・苦情対策	身体拘束廃止・虐待防止	防災対策	ターミナルケア	安全衛生	IT/IOT	食事サービス会議	介護課主任会議	ユニットリーダー会議	ユニット会議	ケアカンファレンス	主任会議					
				開催頻度	第1火曜日	第1火曜日	第1木曜日	第1木曜日	第2木曜日	第2火曜日	第3木曜日	第4木曜日	第2火曜日	第4水曜日	第3水曜日	第1水曜日	第2水曜日	第3水曜日	各ユニット毎	毎週金曜日	第3水曜日			
4月	花見	介護保険 IT・リフト 身体拘束・虐待	新人研修 ユニット研修 キャリアパス研修																					
5月	母の日会	法令順守 IT リフト	キャリアパス研修																					
6月	父の日会 防災訓練	感染症	ユニットリーダー研修																					
7月	七夕	身体拘束・虐待	ターミナルケア研修																					
8月	納涼祭 花火大会	褥瘡予防	事故対策研修 救急救命講習																					
9月	敬老会 健康診断	寄り添い五カ条	キャリアパス研修 安全運転講習																					
10月	翔裕園の日 防災訓練	事故対策	キャリアパス研修																					
11月	サンクスギビング祭 紅葉狩り	感染症予防	ターミナルケア研修																					
12月	クリスマス 餅つき 忘年会	ターミナルケア	認知症研修																					
1月	新年祝い 初詣	身体拘束・虐待	キャリアパス研修																					
2月	節分 防災訓練	褥瘡予防 介護保険	安全運転講習 労務研修 介護保険																					
3月	開設記念行事 ひなまつり 健康診断	事故対策 介護保険	集団指導																					
設備点検等																								
4月	浄化槽水質検査	7月	浄化槽法定点検 浄化槽水質検査 電気月次点検	10月	浄化槽水質検査	1月	浄化槽水質検査 電気月次点検																	
5月	受水槽点検・清掃 電気工作物年次点検 エレベーター点検	8月	エレベーター点検	11月	電気月次点検 エレベーター定期検査	2月	簡易水道検査 エレベーター点検 グリスラップ清掃																	
6月		9月	電気月次点検 消防設備点検	12月		3月	電気月次点検 消防設備点検																	
備考	毎月：浄化槽保守点検																							

平成30年度 ふなばし 翔裕園 事業計画

<p>施設基本方針</p>	<p style="text-align: center;">ジャンプ</p> <p>収益改善を目指し、後ろを振り返らず収支の自立をしてまいります。職員一人ひとりが問題意識を持ち、問題を共有し臆病にならず、前を見て主体的に実行に移せる、人財育成を目指します</p>
<p>施設年度目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人財確保・育成の確立 2. 安定した入居稼働率と訪問介護単体での黒字化 3. IOT・ICTの取り入れによる業務軽減 4. 社会資源として地域貢献の実施
<p>重点項目と方策(各事業ごと)</p>	<p>・特別養護老人ホームふなばし翔裕園 開設3年目は人員体制の安定を目指し、年間通して加算取得ができる体制を維持し、収支の自立をしてまいります。それに向けて主任、副主任のポスト職員が積極的に運営に参加し、問題を共有していくこと、また職員一人ひとりが問題意識を持ち主体的に取り組む意識改革を図り、稼働率98%の目標を達成します。 また、介護職員が長く働き続けられる環境を目指し、ノーリフトの導入とIOT、ICTを取り入れ、業務の効率化を図ってまいります。 進化と真価が問われる1年であることを、常に意識し臆病にならず、実行、実現していくと共に身体拘束、高齢者虐待ゼロの標準化をしてまいります。</p> <p>【重点目標・チャレンジ】 介護課： 栗原主任・武藤主任 管理課(相談部門)： 上杉相談員・尼崎相談員</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ノーリフトの標準化 利用者の重度化に向けて、介護職員の負担軽減を目指し、福祉用具(離床リフト)を第2四半期にデモを実施、第3四半期に導入し、働きやすい環境を整えていきます。 ②IOT・ICTの導入 記録業務の負担軽減のデバイスとして音声入力ソフトの導入デモを第1四半期に行い、第2四半期に導入後、研修を実施し、職員の周知後運用していきます。 ③地域貢献 地域に向けた足湯イベント(年2回)、地域交流室を使用した料理教室(下半期)、ボランティア交流会(下半期)を企画し、近隣住民、地区社協等に広報し交流を深めます。 <p>・ふなばし翔裕園ショートステイサービス 管理課(相談部門)： 飯東相談員 介護課： 武藤主任</p> <ol style="list-style-type: none"> ①稼働率100%を目指し、生活相談員が居宅支援事業所の優先順位を確認し、毎月訪問営業30件 FAX営業50件/月を月初と中旬に行い新規獲得 月3件を目指していきます。 ②課内の相談員の業務の共有と多職種との連携につとめ、特養空床を最大限活用し、ベッドコントロールを行い稼働率を安定します。 ③居宅支援事業所と連絡を密にとり、信頼関係に努め、急な依頼にも速やかに受け入れの対応を行うと共に、船橋市とのネットワークに努め、緊急ショートを受け入れを積極的に行っていきます。 ④単独ユニットの特徴を強みとし、レクや行事、入浴等、ご利用者の意向を把握し、より好まれる余暇の提供を企画し、広報誌やホームページ、チラシ等で、ご利用者、家族、居宅ケアマネに広報し、リピーターを獲得します。 <p>・ふなばし翔裕園訪問介護センター 訪問介護： 岡村サービス提供責任者</p> <ol style="list-style-type: none"> ①毎月300件以上の訪問回数、5%の利益確保必達の為、サービス提供責任者が利用登録の少ない地域や居宅支援事業所の優先順位を確認し、毎月訪問営業30件、FAX営業1日20件を実施し、月のFAX営業400件を行います。 ②毎月2回の訪問会議にて、情報を共有し、問題等について速やかに改善し目標達成を目指します。 ③訪問介護員のスキル向上と情報の共有定着を目指し、2ヶ月に1回以上の研修を特養と共同で行います。また信頼関係の構築の為、個別面談を毎月1回行うと共に、意見交換ができる場を、年2以上設けます。 ④介護保険適用外の病院の付添等の自費サービスの認知度を上げ、介護保険サービスと柔軟に組み合わせ、強みとしていきます。

- ・地域交流、地域貢献事業** 事務長・管理課(相談部門)上杉相談員・尼崎相談員・飯東相談員

 - ①地域住民、近隣高齢者を対象に施設の設備をいかして、足湯イベント(年2回)や地域交流室を使用した料理教室、またボランティアの交流会を企画、開催し地域との協力機関となるよう進めています。
 - ②船橋市老人福祉施設協議会、地域包括支援センターとのネットワークを引き続き強化し、緊急ショートステイの受け入れを実施し、地域貢献おこないます。
 - ③翔裕園の日については、元気グループ創業45周年、元気村25周年のメモリアルイヤーであることを踏まえ、またふなばし翔裕園の開設3周年として利用者、家族、地域住民、ボランティア、居宅支援事業所に向けて参加型の記念イベント取り入れたものを実施し、地域交流、貢献を目指します。
- ・人財確保と育成、定着** 副施設長・事務長 介護課： 栗原主任・武藤主任

 - ①採用については短時間や介護補助、また無資格、未経験者、シニアや外国籍の方々等、多様な雇用の仕組みを作り、2:1の介護職員を目指し、副施設長・事務長が中心に担当していきます。
 - ②雇用後の介護職員の業務軽減を目指し、音声入力による記録や移動リフト等を今年度中に導入活用し働きやすく、長く続けられる環境を介護主任が中心に担当していきます。
 - ③副施設長が中心となり、主任・副主任等のポスト職員を運営に積極的に参加できる仕組み作りを行い問題意識の共有と解決に向けての取り組みを行い、次世代リーダーを育成していきます。また新キャリアパスの周知と定着をおこないます。
- ・有資格者確保策・育成計画** 介護課： 栗原主任・武藤主任

 - ①全ユニットリーダーのアセッサー取得を目指し、取得後はユニット内研修を実施し全介護職員の介護技術の知識、底上げと統一したケアの提供を実施していきます。
 - ②介護福祉士取得に向け、法人で行う介護職員実務者研修の受講と、受講済み職員への資格取得に向けての研修を積極的に勧めていきます。
- ・多様な働き方の実践** 副施設長・事務長

 - ①近隣の65歳以上のシニアによる、短時間勤務の採用を促進し、業務が集中する時間帯(早朝、夕方や休日など)での活用をしていきます。
 - ②訪問登録ヘルパーの増員を目指し、非常勤施設職員の活用を推進していきます。

年間数値目標(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H30 目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
	H29 実績	91.7	93.2	94.3	92.9	93	97.5	98.4	98	99	95.2	95.9	97.5	95.6
短期	H30 目標	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	H29 実績	87.3	96.1	102	99.7	120.1	100.7	93.9	93.3	92.9	87.7	93.2	93	96.7
訪問(件数)	H30 目標	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
	H29 実績	206	180	222	162	158	202	203	207	232	236	246	250	209

平成30年度 ふなばし翔裕園 年間予定表(案)

主な行事	研修		委員会・会議																				
	内部	外部	名称	感染症対策	褥瘡対策	事故対策	身体拘束廃止	虐待防止	安全衛生	消防・防災	自立支援介護	施設広報	食事サービス	サ―ビス担当者	ユニットリーダー	ポ―スト会議	医務課会議	入所検討会議	納涼祭実行	敬老会実行	翔裕園の日	長寿の里会議	
				開催頻度	第3火曜日	第2火曜日	第3木曜日	3ヶ月に一回以上	3ヶ月1回	第2金曜日	偶数月第2月曜日	第3月曜日	第3月曜日	奇数月1月曜日	毎月1回	毎月1回	毎月1回	毎月1回	毎月1回以上	4月57月	6月59月	8月59月	
4月	お花見	新入職員 緊急時対応 バイタルチェック																					
5月	端午の節句	緊急時対応 バイタルチェック 排泄介助																					
6月	食事レク 紫陽花見学	感染症 褥瘡予防 消防訓練																					
7月	七夕 納涼祭	事故予防 褥瘡予防																					
8月	花火大会 夕涼み会	認知症 感染症																					
9月	敬老会 梨・ぶどう狩り	感染症																					
10月	運動会 ハロウィン 焼き芋	インフルエンザ 感染症																					
11月	紅葉狩り 外食ツアー	ストレスケア 感染症																					
12月	クリスマス会 餅つき 忘年会	接遇 感染症 消防訓練																					
1月	新年会 初詣	排泄介助																					
2月	節分 バレンタインデー	認知症																					
3月	雛祭り ホワイトデー	事故予防 虐待防止																					
設備点検等																							
4月		7月		10月	水質検査 法定電気点検	1月																	
5月	害虫駆除	8月		11月	インフルエンザ予防接種	2月																	
6月	エレベーター点検 消防設備点検	9月	職員健康診断 ① 利用者健康診断 エレベーター点検(2回目)	12月	消防設備点検(2回目) エレベーター点検(3回目)	3月	職員健康診断 ② 利用者健康診断 エレベーター点検(4回目)																
備考	※合併浄化槽点検(毎月2回) ※外部研修として船橋市社会福祉協議会等の研修に参加予定																						

平成30年度 かしわ翔裕園 事業計画

施設基本方針

5事業を運営する複合施設として、地域の社会資源や他職種が連携し、在宅生活高齢者向けの新たな介護モデルを創設します。

施設年度目標

- ①目標稼働率の達成 各事業ごとの目標設定をした稼働率・利用回数を達成する。
- ②黒字化 介護報酬の増加、支出削減を図り、事業全体での黒字化を実現する
- ③連携強化 事業所間での連携と地域社会資源を有効活用することで、ご利用者の生活を総合的に支援する。

重点項目と方策(各事業ごと)

○入居(サ高住・有料)

・稼働率の維持・向上

健康管理…施設サービスと在宅サービスとの垣根を取り払い、入居される方が健康に安心して過ごせる環境を整える為、施設内での健康管理体制、地域医療機関等との連携強化を行い、迅速な対応を徹底することで入院者や体調不良者の欠席者の減少を図る。また、事業所内におけるの申し送りの徹底、毎月の全体会議で情報の伝達と意識付けを行い、休止、入院、キャンセル者を減少し年間入院者5%未満・月1名以下を達成し稼働率の維持につとめる。

広報活動…活動内容には施設検索サイトやHPを活用することで広域的なPRを実施するとともに法人内での共通申込方式を活用することで情報共有を実施することで待機者5名の確保し、入退去を10日以内とスムーズ行うことで稼働の維持を図る

・自費サービスの導入

生活支援サービス…ご入居者への生活支援サービスとして介護保険では担いきれない部分の自費サービスを導入することにより、サポート体制の充足、暮らしの充実と事業の増収を図る。(大掃除や外出時の付添、入退院時の準備、不用品の回収など)

○訪問

・介護報酬の増収

居宅介護支援事業と連携し、ケアプランを毎月見直し、訪問サービスの回数増加検討を実施。サービス提供回数増加と計画的に人材を確保することで、訪問介護のサービス提供の充実及び介護報酬の増収を図る。

・キャンセルの減少

サービスのキャンセルが発生しない体制として予定の確認と健康管理を徹底。発生した際の時間や曜日変更を柔軟に対応することで目標回数確保を実施する。

・地域との連携

地域の介護事業所との連携を図り、必要なサービス提供が実施出来る様に協力体制を築き人員の確保及び、サービスの質の向上を図る

○通所

・利用率の向上

平均稼働85%以上を達成する為に、毎月新規獲得3名以上、曜日登録者の管理の徹底、利用追加イベント等を実施する。また、活動中である選択型のクラブ活動の精度を高めることで他事業所との差別化を図り、広報活動を充実させることにより選ばれるデイサービスとし稼働の維持・向上を達成する。

・加算の所得

制度改正により算定される加算を所得する為に、有資格者の確保及び新規加算に算定できる条件を整えることにより増収を図る(サービス提供体制加算Ⅰ、栄養スクリーニング加算、低栄養リスク改善加算等)

・明確な業務分担

組織の新体制により内部での管理、外部への担当を明確化し、個々の役割の責任を果たすことが出来る体制及び業務の役割分担を行う。

○居宅

・社会資源の活用

地域の社会資源との橋渡し役となる、包括ケアシステムの中心となって一人のご利用者を多方面から支える基盤形成を行うと共に事業所間の連携を図る。

・制度改正への対応及びサービス調整

ご利用者の生活を総合的に支え、継続ご利用いただくことでケアプラン件数の確保を行うと共に制度改正により強化されるケアプランの適正化、公正中立性を確保しながらも減収となる自施設内のサービスへの調整を図る。

目標値	H30実績	49	49	45	46	46	48	46	46	43	45	45	45	46
-----	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----------

平成30年度 かしわ翔裕園 年間予定表(案)

月	主な行事	研修		委員会・会議																			
		内部	外部	名称	研	広	給	納	敬	フ	ホ	ポ	デ										
					修	報	食	涼	老	ロ	ス	ス	イ										
開催頻度																							
4月	お花見	特変時の対応について	随時	4月	○	○	○																
5月	バーベキュー 菖蒲湯	薬について	随時	5月	○	○	○	○															
6月	のど自慢 アジサイ見学	介護記録の書き方について	随時	6月	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
7月	七夕 流し素麺	事故インシデントについて	随時	7月	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
8月	夏祭り	虐待防止 身体拘束廃止について	随時	8月	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
9月	敬老会 ぶどう狩り	認知症について	随時	9月	○	○	○																
10月	翔裕園の日 運動会 ハロウィン	感染症予防について	随時	10月	○	○	○																
11月	紅葉狩り 芋煮会	感染症予防について	随時	11月	○	○	○																
12月	クリスマス会 鏡餅作り 忘年会	口腔ケア 誤嚥性肺炎について	随時	12月	○	○	○																
1月	新年会 初詣	苦情対応について	随時	1月	○	○	○																
2月	節分 梅見学	医学的な基礎について	随時	2月	○	○	○																
3月	ひな祭り いちご狩り	接遇について	随時	3月	○	○	○																
設備点検等																							
4月	床面清掃	7月	水質検査	10月	床面清掃	1月																	
5月	エレベーター点検 グリストラップ清掃(1F・2F) 害虫駆除 受水槽清掃	8月	エレベーター点検 床面清掃 洗浄作業 害虫駆除	11月	エレベーター点検 インフルエンザ予防接種 害虫駆除	2月	エレベーター点検 床面清掃 洗浄作業																
6月	床面清掃	9月	消防設備点検 グリストラップ清掃(1F・2F)	12月	職員健康診断 床面清掃 グリストラップ清掃(1F)	3月	消防設備点検																
備考																							